主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１９回（令和元年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）２級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

ＣＯ	社員名	目標額(万)	契約額(万)	契約数	算定基準額
101	白川　由香	2,690	2,769	127	285,000
102	平田　直樹	3,140	3,158	164	319,000
103	大久保　恵	2,930	2,800	139	304,000
104	南　ほのか	3,270	3,315	172	332,000
105	野村　正明	2,580	2,673	108	278,000
106	石原　美和	2,950	3,174	153	295,000
107	大橋　勇気	3,410	3,319	194	351,000
108	関　真由美	3,320	3,297	186	346,000

※算定基準額のデータは＜出力形式２＞で使用する。

＜査定Ａの計算式＞

契約額(万)	査定Ａ
2,800以上	契約額(万)÷目標額(万)×100×1.2
それ以外	契約額(万)÷目標額(万)×100

※査定Ａは整数未満切り捨て。

＜評価表＞

評価の条件	評価
勤勉手当と特別手当の両方とも21万以上の場合	Ａ
勤勉手当と特別手当のいずれかが21万以上の場合	Ｂ
それ以外	Ｃ

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような社員別査定表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
２．査定Ａは＜査定Ａの計算式＞を参照し、求めなさい。
３．合計を求めなさい。
４．査定Ｂ＝契約数÷契約数の合計×100（整数未満四捨五入・関数使用）
５．＜出力形式２＞のような賞与一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
６．査定Ａ・査定Ｂは、社員別査定表を表検索しなさい。
７．基本支給額＝算定基準額×1.57　　勤勉手当＝180,000×査定Ａ÷100
　　特別手当＝1,500,000×査定Ｂ÷100
　　総支給額＝基本支給額＋勤勉手当＋特別手当
８．評価は＜評価表＞を参照し、求めなさい。
９．合計を求めなさい。
10．査定Ａの多い順に並べ替えなさい。
11．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12．賞与一覧表の査定Ａと評価のセル証明をしなさい。
13．賞与一覧表の総支給額を社員名別の横棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“社員別の総支給額”とし、凡例は“総支給額”とする。

＜出力形式１＞

社　員　別　査　定　表

ＣＯ	社員名	目標額(万)	契約額(万)	査定Ａ	契約数	査定Ｂ

（途　中　省　略）

――	合　計			――		――

＜出力形式２＞

賞　与　一　覧　表

ＣＯ	社員名	査定Ａ	算定基準額	基本支給額	勤勉手当	査定Ｂ	特別手当	総支給額	評価

（途　中　省　略）

――	合　計	――				――			――